

第二弾

「熊本電鉄 6 1 1 1 A 編成貸切運転体験 & 撮影会」

文責：JT

実施日：2024/01/20

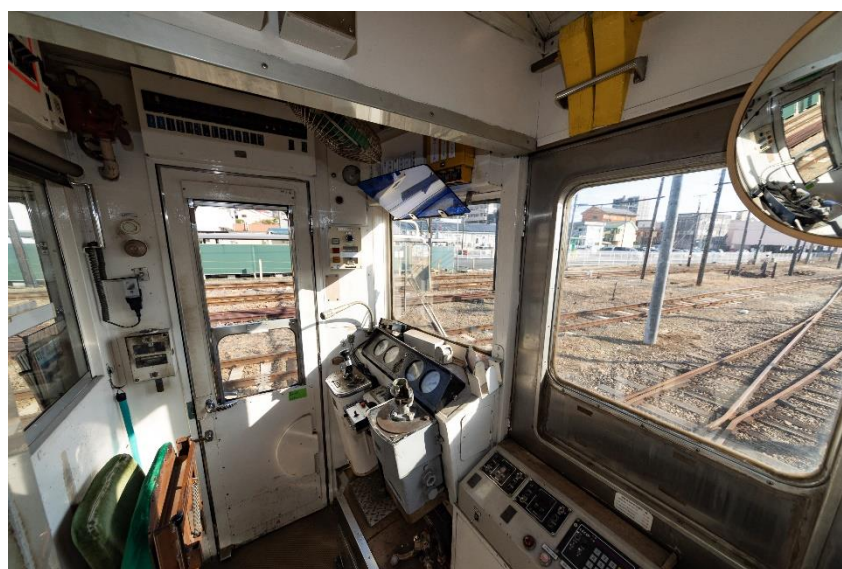
路線：熊本電鉄線

2024 年 1 月 20 日、熊本電気鉄道で運転体験会と貸切撮影会を実施した。イベント当日は雨の予報でしたが、幸い天気は回復し、午後には晴れ間も広がった。

運転体験会では、かつて都営三田線で活躍し、熊本電鉄では現在唯一稼働する 6000 形車両（6111A 編成）を運転、操作方法は指導運転士の方が丁寧に教えてくださり、参加者は交代で 1.5 往復の運転を体験した。実際にブレーキやマスコンハンドルを操作すると、その難しさに驚きつつも、運転士になった気分を楽しんだ。特に、デッドマン装置が作動しないようハンドルを押さえる操作や、停止目標を守るブレーキ操作の繊細さに感嘆した。

撮影会では、2016 年に勇退し「青ガエル」「平面ガエル」と呼ばれ親しまれた 5101A 車両も特別展示され、現役車両と並べて撮影する機会が設けられた。方向幕の回転やヘッドマークの装着など、自由度が高く、普段のイベントでは撮影が難しいアングルやシーンを楽しむことができた。偶然にも、当日撮影会を行っている隣で、2023 年 10 月に引退した 6211 編成の解体作業が実施され、その最後の姿を見届ける貴重な瞬間にも立ち会えた。

貸切の特別感だけでなく、参加者の要望に熊本電鉄のスタッフの皆様が温かく柔軟に応じていただいたことに感謝する。



- ▲▲ 熊本電鉄では 6000 形最後の 1 編成となった 6111A 編成。撮影会当時は青帯を纏っていた。
- ▲ 6111A 編成の運転席。想像していたほど運転は難しくはなかったが、デッドマンの操作が難しい。日常的に操っている乗務員の方は凄いと感じた。
- ▼ 撮影会では、上熊本駅構内で保存されている 5000 形車両も姿を現した。現在は、熊本電鉄が主催する運転体験会のみで姿を現しているのも、貴重な機会となった。



交通たび企画
めーぷる



▲ 熊本電鉄様のご厚意で「青ガエル」の車内見学をさせてもらえた。65 年前に製造された車両が今も動く状態で保存されていることに脱帽する。

写真：すべて筆者撮影

※なお、この熊本電鉄貸切の詳細は、鉄道ファン 2024 年 8 月号にて代表の執筆記事をご覧ください。

※この貸切イベントは、貸切列車同好会「めーぷる」として実施したものではなく、高校時代の代表個人活動として実施しております。

イベントの最後には記念撮影や再度の車内見学が行われ、「青ガエル」の車内も見学しました。外板や車内は劣化を感じざるを得なかったが、引退当時の状態が保たれていることに感動しました。

今回のイベントは、参加者にとって一生忘れられない特別な時間となった。貸切イベントならではの充実感と、熊本電鉄が提供する魅力的な体験に感謝の念を抱きつつ、今後もこうした機会を多くの人に開きたいと考えさせられる一日となった。